

和歌山県オリジナルの災害対応シミュレーションゲーム 「きいちゃんの災害避難ゲーム」が完成しました。

津波による犠牲者ゼロのため、災害時の迅速な避難行動や日頃からの備えの重要性、円滑な避難所運営のために必要となる協力体制等について、楽しみながら実践的に学べる教材として、和歌山県オリジナルのゲームを作成し、この度完成しました。

記

1 概要

- ゲーム名 : 「きいちゃんの災害避難ゲーム」
- 構成内容 : 2つの災害対応の模擬体験ができるボードゲーム

ゲーム1 津波から逃げ切ろう!



(内容) 冬場の悪天候の早朝に南海トラフ地震が発生する想定のもと、自宅から避難路を通して避難場所まで津波に追いつかれずに無事逃げ切ることができるか。事前準備の大切さを学びながら迅速な避難行動を身に付ける。

残り時間や事前準備などで得られる防災ポイントをチーム間で競うゲーム。

(対象) 小学校高学年から

ゲーム2 みんなで協力して避難所運営しよう!

みんなが協力して避難所運営しよう!



(内容) プレーヤーがそれぞれ市町村の避難所運営本部の担当班長になり、時系列で発生する避難所内外の課題やトラブルに迅速に対応する。

対応できた場合に得られるポイントをチーム間で競うゲーム。

(対象) 高校生から (実際に避難所を運営する人材を想定)

2 今後の活用について

- ・ 地域での訓練や学校での防災教育等への貸出し用として市町村や振興局に配備
- ・ 県で実施する「紀の国防災人づくり塾」「出張！減災教室」等の研修や講座で使用
- ・ ダウンロードの上、印刷して活用出来るよう和歌山県ホームページへ掲載

※400セット作成しており、活用開始は4月上旬からの予定

※貸出しは、市町村又は振興局総務県民課にお問い合わせください。(4月上旬～)



外箱



ゲーム1 (ボード面)



ゲーム2 (ボード面)

【お問い合わせ】 防災企画課 笠松、鶴田(内線 2271)
TEL : 073-441-2271